みんぱく 国際ワークショップ

国立民族学博物館 機関研究
「マテリアリティの人間学」
Core Research Project, Anthropological Study of Materiality

アジアの布と生きる
Living with Asian Textiles

2012年11月3日(土) 10:00—17:10

国立民族学博物館 講堂
Auditorium of the National Museum of Ethnology

●**講演**：William Ingram & Jean Howe（暮らしの糸／ブバリ財団）／James Bennett（南オーストラリア州美術館）
今井俊博（ゆうど・ユーラシア・クリエイティヴ・ジャパン）／岩立広子（岩立フォークテキスタイルミュージアム）／吉田真一郎（近世麻布研究所）

●**使用言語**：日本語・英語（同時通訳あり）　●**参加申込**：ワークショップ事務局までEメールまたは往復葉書で事前申込みをお願いします。

●**申込み・問い合わせ先**：アジアの布事務局（〒565-8511 大阪府吹田市千里万博公園10-1 国立民族学博物館・事務局 Eメール・アドレス cloth@idc.minpaku.ac.jp）

●URL：http://www.minpaku.ac.jp/research/activity/news/corp/20121103

国立民族学博物館

アジアの布と生きる

Living with Asian Textiles

2012年11月3日(土) 10:00－17:10

国立民族学博物館 講堂

Auditorium of the National Museum of Ethnology

日本やアジアの伝統染織の現場で、さまざまに活躍されている6人の方にお話を伺います。日本にアジアの布と衣への関心を生み出した先駆者今井さん、南アジアを歩き回って布を集め美術館まで作り上げた岩立さん、日本の麻布・自然布を集め調べて30年の吉田さん、インドネシア各地で伝統織物を調査し、女性たちの製作グループを育ててきたバリ島「暮らしの糸／ブバリ財団」のイングラムさんとハウさん、南オーストラリア州美術館で学芸員を勤めながら、土着の布・工芸の現場を広く歩いてきたベネットさん。日本やアジアの風土の中で作られる布、その製作、流通、消費まで、現状と今後の展望を議論するワークショップです。布が好きな方、製作・流通に関わる方、勉強中や研究中の方、みな会場においでください。

10:00〜10:05
歓迎挨拶　**須藤健一**(国立民族学博物館長)
Welcome Speech：Ken'ichi Sudo (Director-General, National Museum of Ethnology)

10:05〜10:20
テーマと趣旨の説明　**関本照夫**(国立民族学博物館)
Opening Remarks：Teruo Sekimoto (National Museum of Ethnology)

10:30〜11:20
現代の身衣(MIGOROMO)—モンスーンアジアの腰衣
今井俊博(ユーラシア・クリエイティヴ・ジャパン代表取締役)
"MIGOROMO Today：A union of the body and cloth in monsoon Asia"
Toshihiro Imai (President, Eurasia Creative Japan)
今井さんへの質問と対談　**中谷文美**(岡山大学)
With questions and discussion by Ayami Nakatani (Okayama University)

11:20〜12:10
アジアの布を求めて　**岩立広子**(岩立フォークテキスタイルミュージアム館長)
"In search of Asian textiles"　Hiroko Iwatate (Director, Iwatate Folk Textile Museum)

13:00〜13:50
暮らしをつなぐ糸－現代インドネシアの伝統染織
ウィリアム・イングラムとジーン・ハウ(インドネシア、Threads of Life／ブバリ財団共同代表)
"Threads of Life：Traditional textiles in contemporary Indonesia"
William Ingram and Jean Howe
(Co-Founders of Threads of Life, and Co-Directors of Bebali Foundation)

13:50〜14:40
結びつける糸 —ジャワ人・オーストラリア先住民バティック芸術家たちの文化交流
ジェームズ・ベネット(南オーストラリア州美術館・アジア美術担当主任学芸員)
"Threads of connections：Cross-cultural exchange between Javanese and Indigenous Australian batik artists"
James Bennett (Curator of Asian art, Art Gallery of South Australia)

14:50〜15:40
日本人が着てきた自然布　**吉田真一郎**(近世麻布研究所代表)
"Textiles of long vegetable fibers that Japanese have been wearing"
Shin'ichiro Yoshida (Director, Asafu Institute)

15:40〜15:55　全体へのコメント(1) Comment 1：Sachiko Kubota (Kobe University)
15:55〜16:10　全体へのコメント(2) Comment 2：to be announced
16:10〜17:00　全体討論　Discussion

17:00〜17:10
閉会挨拶　**関本照夫**(国立民族学博物館)
Closing remarks：Teruo Sekimoto (National Museum of Ethnology

9月13日〜11月27日の間、民博特別展「世界の織機と織物」開催中

交通のご案内

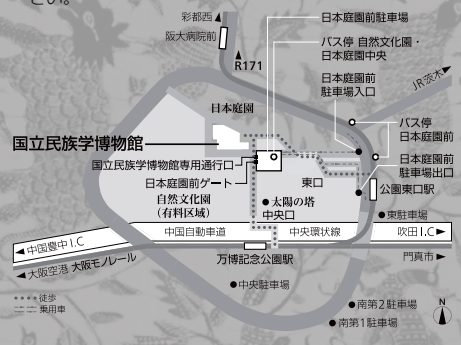
国立民族学博物館(みんぱく)は大阪・千里の万博記念公園内にあります。「みんぱく」とは大学共同利用機関法人 人間文化研究機構国立民族学博物館の愛称です。

●**大阪モノレール**
「万博記念公園駅」下車徒歩約15分
＊国際ワークショップに参加される方は、こちらからお送りする参加券を自然文化園ゲート窓口でご提示くだされば無料で通行できます。
「公園東口駅」下車徒歩約15分
＊公園東口駅からは自然文化園(有料区域)を通行せずに来館できます。

●**バス**
[**近鉄バス**](阪大本部前行き)阪急茨木市駅から約20分、JR茨木駅から約10分「日本庭園前」下車、徒歩約15分
[**阪急バス**](万博記念公園駅経由千里中央行き)阪急茨木市駅から約20分、JR茨木駅から約10分「自然文化園・日本庭園中央」下車、徒歩約5分

●**タクシー**
万博記念公園「日本庭園前駐車場」まで乗り入れることができます。下車、徒歩約5分

●**乗用車**
駐車場が無いため「みんぱく」への車の乗り入れはできません。 万博記念公園の駐車場(有料)をご利用願います。最寄りの「日本庭園前駐車場」から約5分
＊「日本庭園前駐車場」をご利用の方は、「日本庭園前ゲート」横にある「国立民族学博物館専用通行口」をお通りください。



国立民族学博物館

〒565-8511
大阪府吹田市千里万博公園 10番1号
http://www.minpaku.ac.jp/